

12月度 <small>例会</small> <b>山行報告書</b> <small>個人</small>		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	CL; 渡辺 勝利 藤田 健治 2名
山域	奥美濃西部	報告日	12 / 19		
山名	伊吹山	山行日	06年 12月 16日(土)		

山行目的	耐寒、雪上歩行トレーニング	コースタイム(天候: 天気図記号)
------	---------------	-------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

伊吹山 1377.3m

6合目避難小屋 (H18年新築)

注)  
×; 稼働停止リフト  
3号目までのスキー場は閉鎖

2.5万分の1地図: 関が原

12/16 晴
06:50 豊田発
08:00 登山口 10
09:20 3合目 30
10:15 7合目 30
11:00 頂上 45
12:25 6合目 30 (避難小屋)
13:40 登山口
伊吹薬草の里で入浴 後、15:30 豊田着

山行報告 今冬は久しぶりに現役の冬山合宿に参加することになったので、以前の冬山合宿前には必ず、行っていた伊吹での雪上トレーニングを思い出した。幸い藤田Bも付き合ってくれることになり、2人で出かけてみよう、早朝に豊田を出発。東名、名神を順調に走り、関が原ICで降りR365を北上、あつという間に登山口に到着。国鉄の近江長岡駅で下車、バスに乗り継いで漸く登山口についた頃が懐かしい。登山口の駐車場は閑散としており、もちろん登山客は一人もいない。身支度も早々に出発。雪の全くない落ち葉いっぱい登山路を一合目へ。一合目も雪はなく草原状で以前はあんなに賑やかだったスキー場の面影は全くない。搬機の付いてないリフトを横目にグレンデの中の道を汗をかきながら3合目に至り、降雪機で作っている小さなグレンデをトラバースして一息つく。見上げる伊吹山頂までの大斜面は雄大なスケールで迫ってくるものの雪らしきものは見当たらない。耐寒、雪上歩行訓練はとでもできそうにないが体力トレーニングだけは出来そうだと気を取り直して更に歩を進める。9合目付近からは道端に消え残った雪がところどころに見られるようになり、頂上台地では吹き溜まりで40~50cm程度の積雪量があった。一等三角点を踏んだ後、新調のアイゼンの調子を見るために雪上歩行訓練をしばらく行なったが靴底にぴたりとフィットし、ベリーグッド。冬山合宿が楽しみである。いつの間にかやら登山者も数人になり、賑やかになってきたので早々に頂上をあとに往路と同ルートで下山。伊吹薬草の里で汗を流した後、陽の高いうちに帰豊。(入浴料 @300)

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



雪のない伊吹山遠望  
6合目には15名は宿泊できそう  
真新しい避難小屋が建っていた

確認 (リーダー)  
渡辺 勝利  
06/12/19  
作成 (報告者)

リーダー所見 目的のトレーニングは雪不足でできなかったが、それでも雪の感覚は多少なりとも思い出すことが出来た。そして30年ぶりの伊吹の様変わりに驚いた。あの頃のスキー場の嬌声が昨日のように耳に残っているが、今は3合目スキー場が細々と営業しているだけらしい。まさに「夏草や兵どもの夢の後」を実感した山行となった。